



「かいぞう」の由来

野田、末永、三ッ谷、四日市、羽津方面一帯の低い土地がまだ海であったころ、東、西阿倉川の高台は岬となって海の中に突出していました。

これが、むかし呼ばれていた志^し氏の岬で、垂阪山までの野が志^し氏我野^{がの}です。

その岬の突端あたりに僅かな漁民が住んでいて、乾魚や海草の類を貯える横穴の蔵がありました。これを海蔵^{あくら}と呼んでいたことが地名となったようです。

いまの阿倉川と書くようになったのは後のことで、500年程前までは海蔵川^{あくらがわ}と書き、現在では海蔵^{かいぞう}と呼ぶようになりました。 (内田 金次)